

キラリと光る逸品揃い

～ご利用者の想いの詰まった作品作り～



クッションのボタン選び



モップの毛糸結び



ツリーのビーズ通し



今年も11月4日に行われた本楯コミュニティ祭にて作品を展示させて頂きました。今年は何年以上にご利用者の作品作りへの強い想いを感
じました。
ミニツリーは、もともとご利用者が得意な裁縫を活かして何かご家族にプレゼントを作れないかと、ご本人と一緒に考え作り始めた物でした。夏から作り始めました。ご家族が喜ぶだろうねと話しながら手を動かします。出来上がった時に職員と喜び合っていた姿が印象に残っています。
クッションもご利用者の息子さんにプレゼントするために作りました。息子さんのためにと一針一針丁寧に一生懸命縫っていました。ボタンもたくさんある中から悩んでこれが合うのではと選びました。「息子は喜ぶかな？」と照れ笑いをしながら頑張るお母さんの姿がそこにはありました。
モップは、きれいな好きなご利用者ご自分のお部屋をきれいにする便利な道具はないかと考え、作り始めた物でした。ハンガーに一本一本毛糸を結び、根気のいる作業ですが、黙々と行っていました。いかに暮らしやすく出来るか考える姿を見て、おばあちゃんの暮らしの中の知恵を感じました。
それぞれの作品への想いを感じ、例年になく心が暖かくなり作品を見て嬉しい気持ちになりました。

ご利用者の 思いと対応

あけみさんは、入浴やトイレに誘うと行くのを嫌がることがあります。

あけみさんの気持ちを考えてみるとあけみさんは、職員の言っていることが理解できなかつたり、自分の考えを言葉にすることが難しいことがあります。入浴やトイレに誘われても行かなければならない理由が分からなかつたり、動くのが面倒だと思っていたら、しつこく誘われると嫌な気持ちになるのではないかと思います。

対応として入浴やトイレに行かなければならないといった無理やりな誘いは、本人に嫌な気持ちとして伝わります。本人の分かる言葉や身振り手振りでゆっくりと説明し気持ちを確認することが大切です。また、表情が和らいできたら再度誘ったり、行動している流れで誘うと受け入れてもらえることがあります。

大切なのは良い関係を作ることです。「嫌がられるかな」というような気持ちで誘うと、必ず態度や言葉に表れます。うわべだけの言葉は認知症の人にすぐに見抜かれ「この人は信用できない」と思うでしょう。本人の立場になって考えてみることでできれば少しずつ信頼関係が築いていけると思います。



11月家族の日
白玉粉を使った
おやつ作りに挑戦！

収穫したさつまいもを使って
地域の方とさつまいもいっぱいの蒸しパン作り♪



今年も地域の方より、たくさんの
柿を頂き、干し柿を作りました



ほなみ写真館



ほなみ12月の行事

- 6日 童謡を歌う会
- 14日 民謡を歌う会
- 21日 踊り教室

時間はいずれも、午後二時〜三時頃まで一緒に楽しみませんか♪地域の方のご参加をお待ちしています。
連絡先 TEL(91)7123

編集後記



今年も地域の方よりたくさんの柿を頂き、そのまま食べられる柿もたくさん頂いたので、おやつにて提供させて頂きました。毎日おやつは柿という日が続いて飽きてしまいうようなものですが、ご利用者の皆さんは、よっぽど美味しいようですね。毎日「美味しいね」と満面の笑みを浮かべながら召し上がっていました。庄内柿は庄内が誇る果物ですものね♪

(佐藤 真奈)

ある日のほなみ

本楯コミュニティ祭にて、地元の顔見知りの方々と顔を合わせる機会がありました。Aさんは「知っている人がいてもしえけよ。」と大喜び！今年も作品を出品することが出来ました。一生懸命作った作品が綺麗に飾られていることもあって喜びは二倍だったのでないでしょうか。来年はどんな作品を出品出来るか今から楽しみみです。

(金子 結衣)